

平成 16 年 6 月 24 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 ア ル バ ッ ク  
代 表 者 名 代表取締役社長 中 村 久 三  
(コード番号:6728 東証第1部)  
問 合 せ 先 常務取締役経営企画室長 常 見 佳 弘  
(TEL. 0467-89-2033 大代表)

## 韓国における新工場建設および新会社設立について

当社は、平成 16 年 6 月 24 日開催の取締役会において、韓国現地法人、韓国アルバック(株)(大韓民国京畿道平澤市青北面閑山里 837-4 社長 白 忠烈)に大型基板液晶ディスプレイ製造装置用生産工場の建設および大型装置用部品製作を目的とした新会社、部品表面処理を目的とした新会社を設立することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。なお、韓国アルバック(株)は、当社の連結子会社であります。

### 記

#### 1.新工場建設および新会社設立の理由

韓国アルバック(株)は平成 7 年 7 月に設立し、液晶ディスプレイや半導体製造装置などの営業活動支援とアフターサービスなどを広範囲に展開してきました。平成 12 年 11 月には、京畿道平澤市に、韓国のお客様向けに液晶ディスプレイや電子部品製造装置などの製造、販売をおこなう平澤工場を建設し、当該工場で累計 60 台の製造装置を出荷してまいりました。

近年、韓国における大型基板液晶ディスプレイ製造装置の需要が活発となり、装置の大型化が加速してきてだけでなく、多くのお客様から国産化推進のご要求が寄せられてきました。

このような状況において、業界で初めて韓国国産化を達成した平澤工場の生産能力にも限界がきていることから、平澤工場近傍の玄谷(Hyeon-gok)工業団地の土地を取得し、第 7 世代(注 1)以降用液晶ディスプレイ製造装置の生産工場としてクリーンルームを建設することにいたしました。

また、装置の大型化が加速し、部品の製作や物流も限界に達し、部品を内作化して効率化を図る必要ができました。そのため、当社の子会社であるアルバック東北(株)で確立した生産技術を導入し、マシニングセンターを備えた部品製作会社を設立することにいたしました。

同様に、表面処理が必要なメンテナンス部品も大型化していますが、急速な大型化に表面処理会社の設備投資が追いつかない状況になっています。そのため、当社の子会社である真空冶金(株)で確立した表面処理技術を導入し、環境問題に配慮した部品表面処理会社を設立することにいたしました。

#### 2.韓国アルバック(株)の概要

商 号 : 韓国アルバック株式会社(英文名:ULVAC KOREA,Ltd.)  
代表 理事会長 : 諏訪 秀則 (非常勤、(株)アルバック 代表取締役副社長)  
代表 理事社長 : 白 忠 烈  
所 在 地 : 大韓民国京畿道平澤市青北面閑山里 837-4

主な事業内容 : 液晶ディスプレイ製造装置、電子部品製造装置等の製造、販売およびサービス、部品表面処理などのカスタマーサポート

決算期 : 12月

資本金 : 56億2,212万ウォン

出資比率 : (株)アルバック 76.0%  
アルバックテクノ(株)(注2) 24.0%

設立時期 : 平成7年7月

従業員数 : 230名(平成16年4月1日現在)

事業規模 : 761億ウォン(日本円約76億円) (平成15年12月期)

### 3.新工場の概要

	平澤工場	玄谷(Hyeon-gok)工場(新設)
着工	平成12年3月	平成16年7月(予定)
竣工	平成12年11月(第1期) ~平成15年11月(第3期)	平成17年3月(予定)
敷地面積	5,000坪 (16,592 m <sup>2</sup> )	約15,000坪(約49,000 m <sup>2</sup> )
建屋面積	3,859坪 (12,758 m <sup>2</sup> )	(第1期)約3,150坪(約10,000 m <sup>2</sup> ) (クリーンルーム 約1,250坪)
生産品目	第6世代までの液晶ディスプレイ、 電子部品、半導体製造装置の製造	第7世代以降液晶ディスプレイ、 電子部品、半導体製造装置の製造
生産能力	第5世代液晶ディスプレイ製造装置 約40台/年間	第7世代液晶ディスプレイ製造装置 約20台/年間
投資額	約12億円(第1期~第3期)	約8.9億円(第1期)

### 4.新会社の概要

#### (1) 部品製作加工新会社の概要

商号 : 韓国 ULVAC 精密 (ULVAC Korea Precision) 株式会社(仮称)

代表者 : 代表理事 白 忠 烈 (非常勤、韓国アルバック(株) 代表理事)

所在地 : 京畿道平澤市玄谷工団 (韓国アルバック(株)玄谷工場敷地内)

主な事業内容 : 大型基板真空装置用部品およびその他真空装置用部品の製造

決算期 : 12月

資本金 : 約7.5億円

出資比率 : アルバック東北(株)(注3) 30.0%  
韓国アルバック(株) 70.0%

設立時期 : 平成16年7月(予定)

稼働開始 : 平成17年8月(予定)

従業員数 : 22名(平成20年予定)

事業規模 : 16億円(平成20年12月期予定)

投資額 : 約12億円

(2) 表面処理新会社の概要

商 号 : PS Tech.(Pure Surface Technology)株式会社(仮称)  
代 表 者 : 代表理事 白 忠 烈(非常勤、韓国アルバック(株) 代表理事)  
所 在 地 : 京畿道平澤市玄谷工団  
主な事業内容 : 成膜装置用部品の表面処理業務  
決 算 期 : 12 月  
資 本 金 : 約 3.0 億円  
出 資 比 率 : 真空冶金(株) (注4) 30.0%  
                  韓国アルバック(株) 60.0%  
                  第一ウインテック(株) (注5) 10.0%  
設 立 時 期 : 平成 16 年 7 月(予定)  
稼 動 開 始 : 平成 17 年 7 月(予定)  
従 業 員 数 : 35 名 (平成 20 年予定)  
事 業 規 模 : 約 5 億円(平成 20 年 12 月期予定)  
投 資 額 : 約 4 億円

5.今後の見通し

新工場玄谷工場の竣工は、平成 17 年 3 月頃を予定しておりますので、当期および次期の業績に与える影響は軽微であります。なお、玄谷工場稼働後の平成 20 年には玄谷工場のみで約 69 億円の売上を予定しております。

(注1) 第 5 世代、第 6 世代、第 7 世代

:液晶ディスプレイ製造用に使用するマザーガラスのサイズ。

第 5 世代 :1,000mm × 1,200mm

第 6 世代 :1,500mm × 1,900mm

第 7 世代 :1,900mm × 2,200mm

(注2) アルバックテクノ(株) :真空装置のメンテナンスサービス会社 (当社連結子会社)

(注3) アルバック東北(株) :当社真空装置の製造委託会社 (当社連結子会社)

(注4) 真空冶金(株) :材料、新素材製造や部品表面処理会社(当社連結子会社)

(注5) 第一ウインテック :

商 号 : 第一ウインテック(株)

代 表 者 : 会長 朴 永緒

所 在 地 : 慶尚北道龜尾市山東面東谷里 713

主な事業内容 : 真空装置用部品の溶射および表面処理業務

(韓国アルバック(株)の部品表面処理業務委託会社)

資 本 金 : 約 9.5 億ウォン

事 業 規 模 : 約 31 億ウォン(日本円 約3億円)(平成 15 年 6 月期)

以上

(添付資料)



平成 12 年 11 月に竣工した韓国アルバック(株) 平澤工場の外観



玄谷 (Hyeon-gok) 新工場の完成予想図